

神奈川県公立中学校教育研究会

技術・家庭科研究部

広報委員会

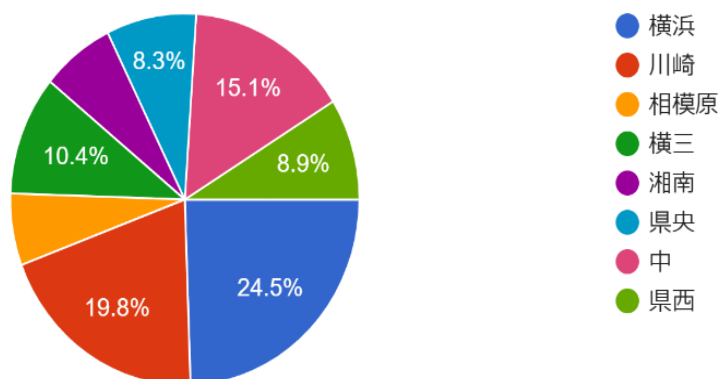
【家庭分野】

令和 6 年度調査報告

【家庭分野】

【1】 地区名を選んでください

192 件の回答

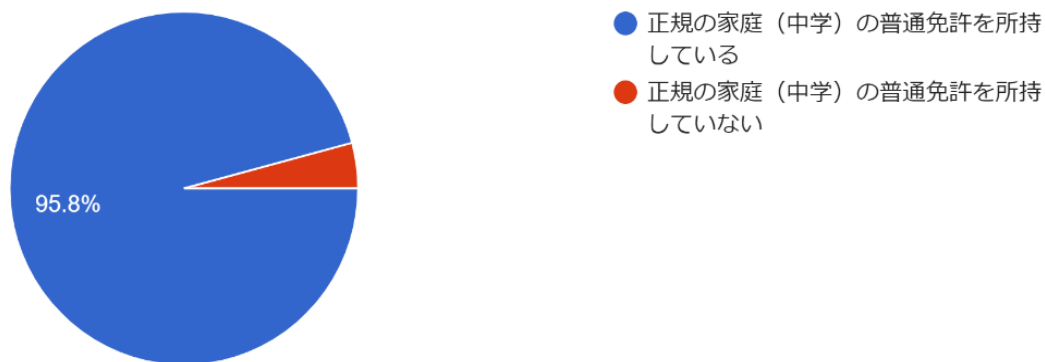


【2】所属学校名を入力してください。⇒未掲載

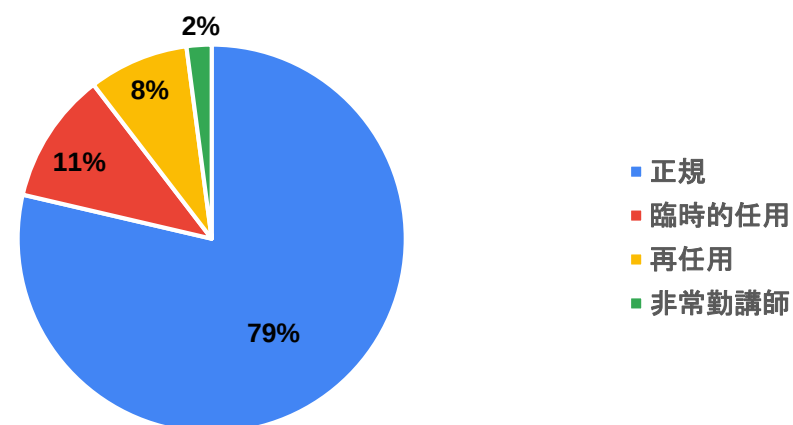
【3】お名前を入力してください。⇒未掲載

【4】所持免許について教えてください

192 件の回答

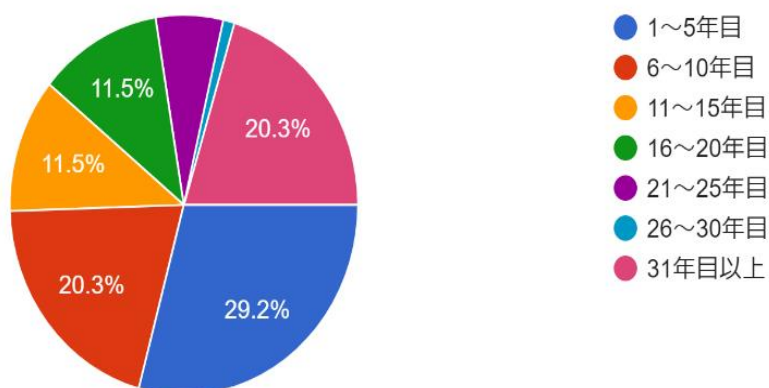


【5】勤務形態を教えてください



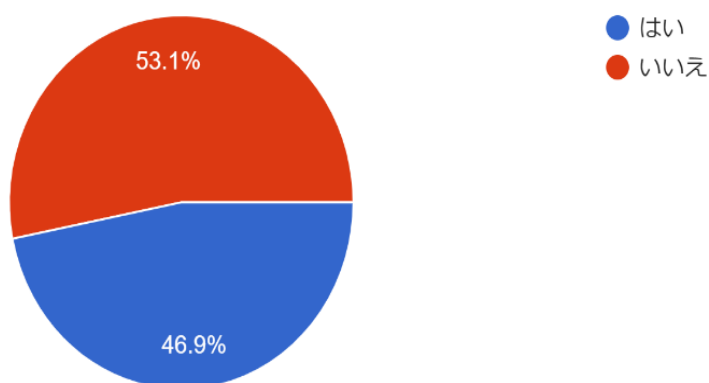
【6】 経験年数を教えてください

192 件の回答



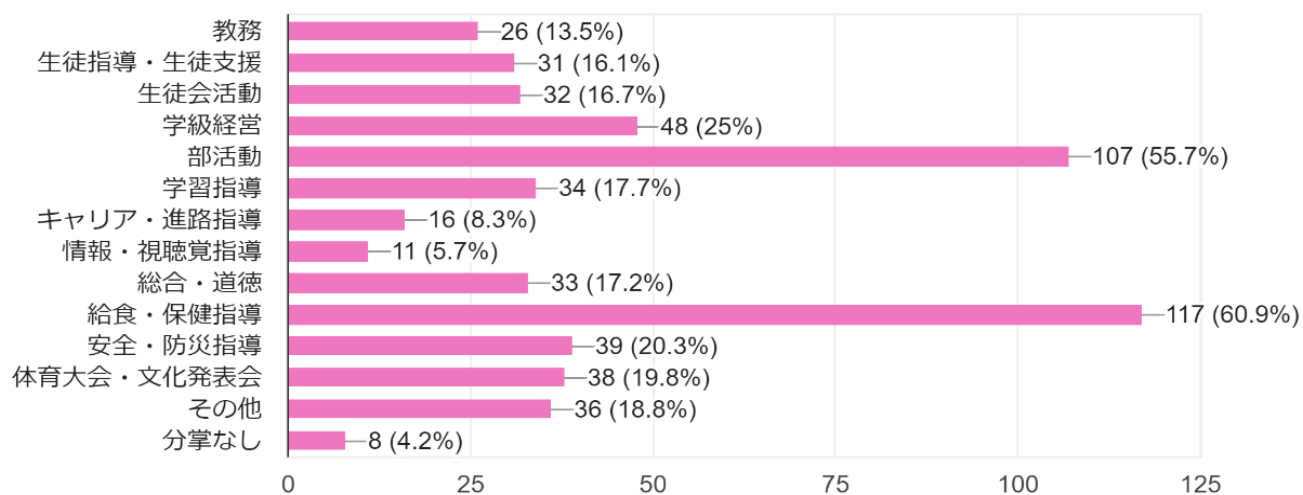
【7】 学級担任をもっていますか

192 件の回答



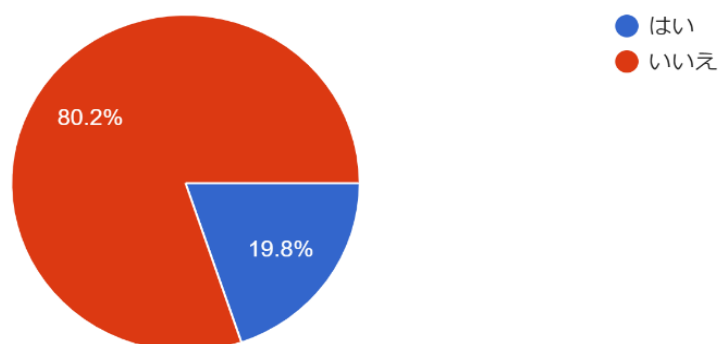
【8】 あなたの担当している校務分掌を選んでください

192 件の回答



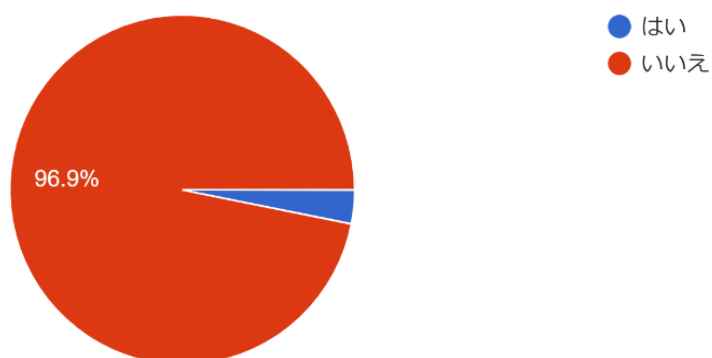
【9】 家庭科以外の教科を担当していますか？

192 件の回答



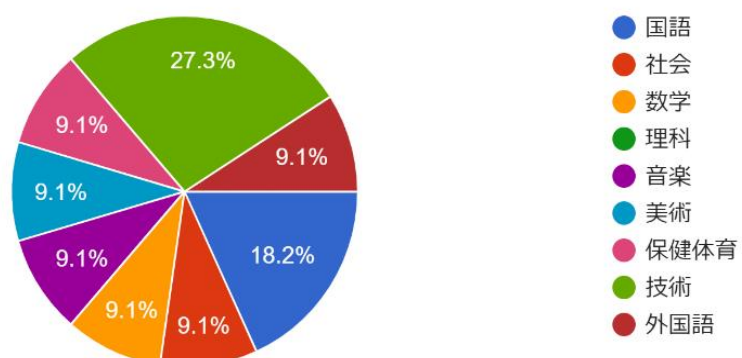
【10】 あなたの学校では、家庭科の授業を、他教科の先生が受け持っていますか？

192 件の回答



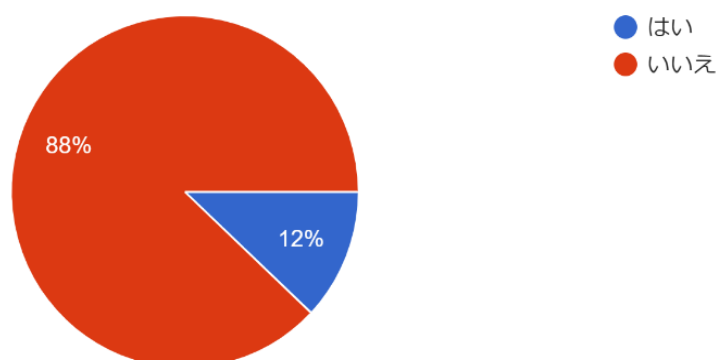
【11】 上の質問で『はい』と答えた先生は、専科を教えてください。

11 件の回答



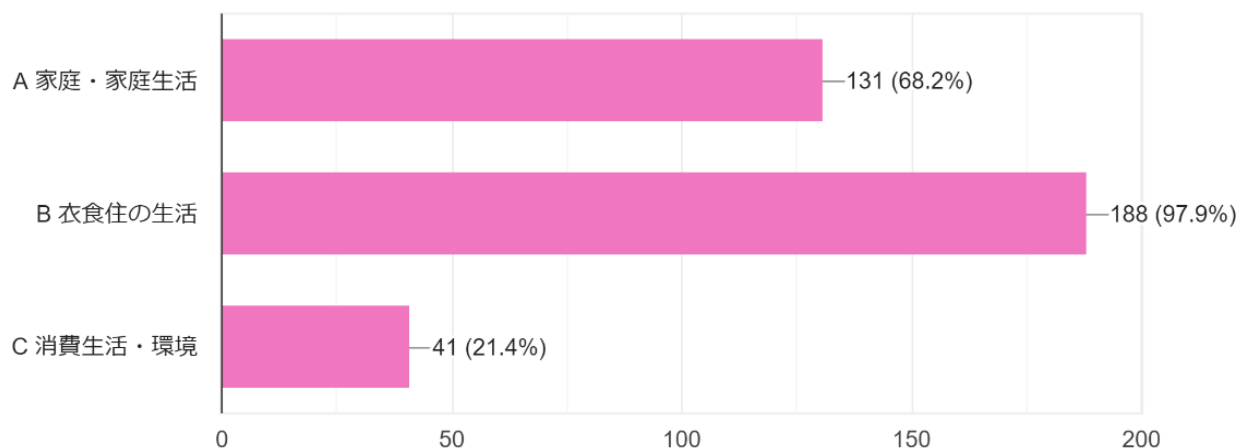
【12】 あなたの学校には、家庭科の教員が複数名いますか？

191 件の回答



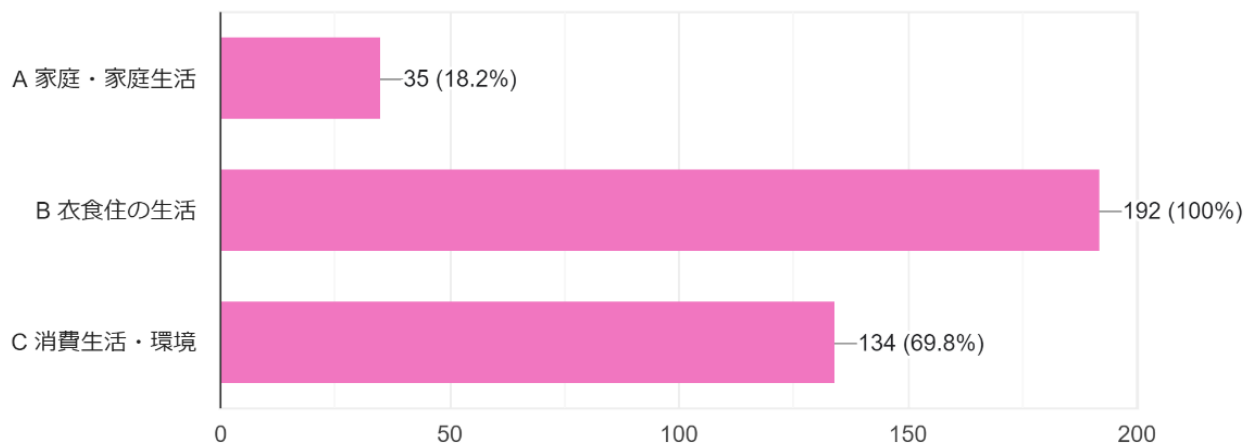
【13】 1 年生で履修する予定の内容について、選んで下さい。

192 件の回答

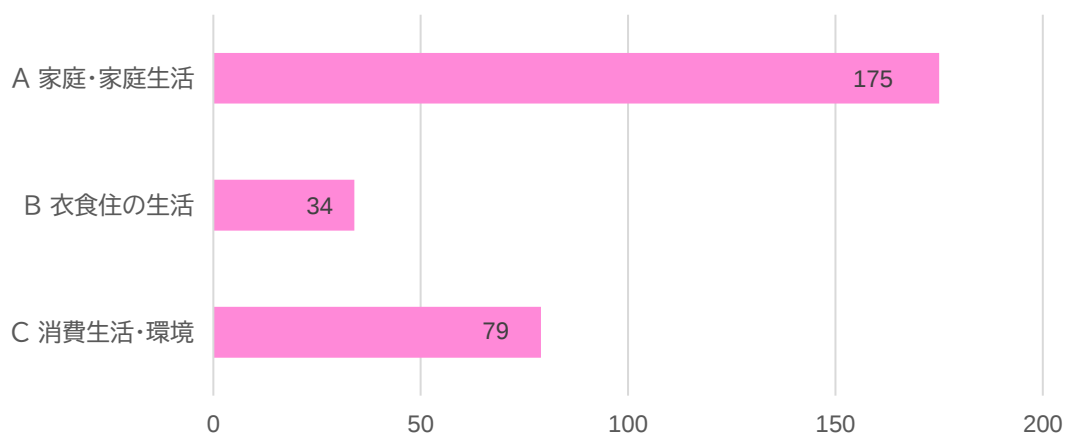


【14】 2年生で履修する予定の内容について、選んでください。

192 件の回答

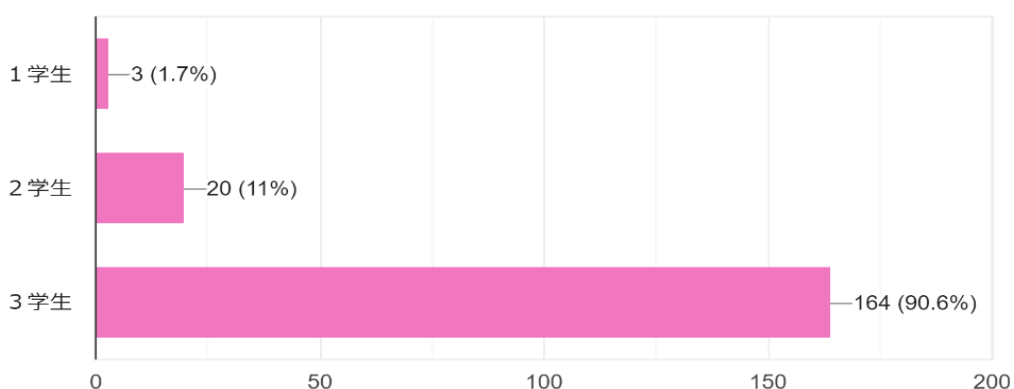


【15】 3年生で履修する予定の内容について、選んでください。



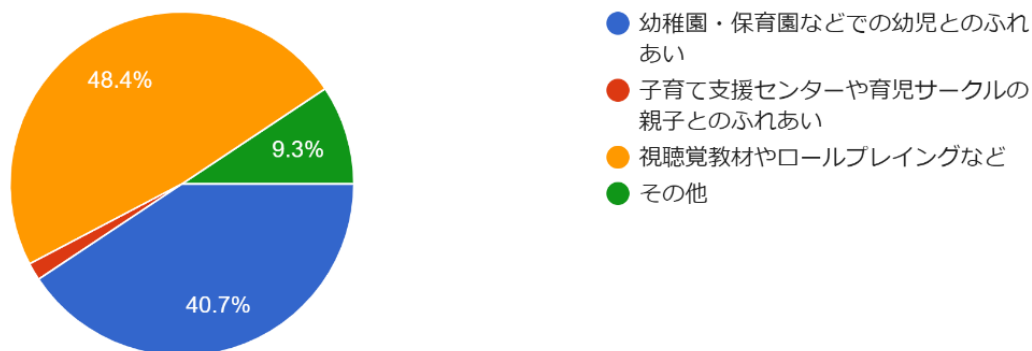
【16】 「幼児と触れ合うなどの活動」を実施している時期はいつですか

181 件の回答



【17】 実施状況について、どれにあてはまりますか？

182 件の回答

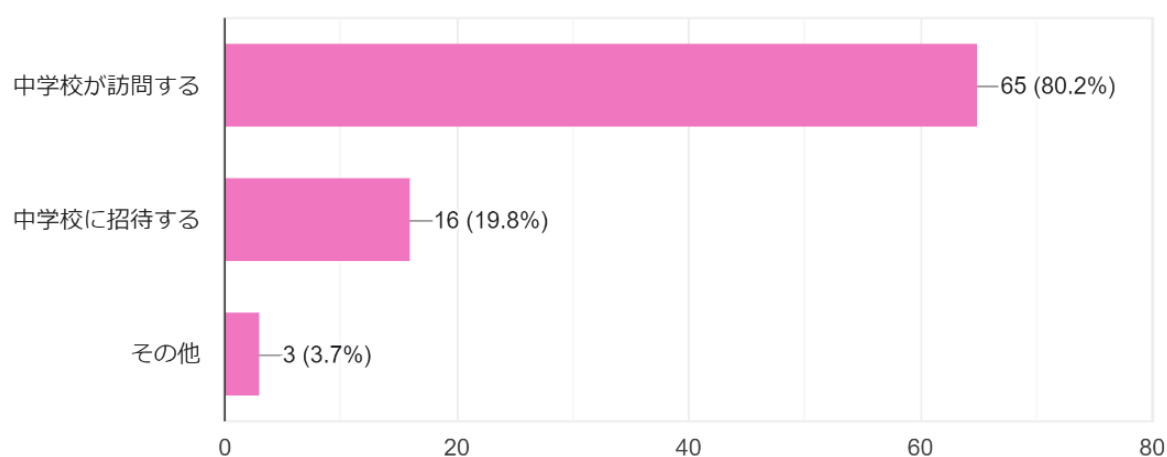


【17】その他の回答

- ・夏休みの宿題 ・出身小学校の 1 年生との触れ合い行事
- ・幼稚園や保育園の園児が中学校に来る時に、授業を合わせてふれあいをする。
- ・幼稚園や保育園との日程が合わなく、保育園の先生などから、講演をしてもらった。
- ・1 年総合で職業講話として一部の生徒は幼稚園教諭の講話を聞く、2 年総合の職場体験で一部の生徒は幼稚園に訪問する、3 年の家庭科で全体指導は視聴覚教材を中心にする
- ・幼児のおもちゃを作り、発達段階を考察する
- ・子育てサロンの実施で実際に乳幼児と触れ合う場を作っている。
- ・育休中の先生を学校に招いてふれ合い体験をしている。
- ・外部講師(父親の会的な団体の元高校教員の方)の話とロールプレイカードゲーム
- ・近くの助産院と連携したふれあい活動

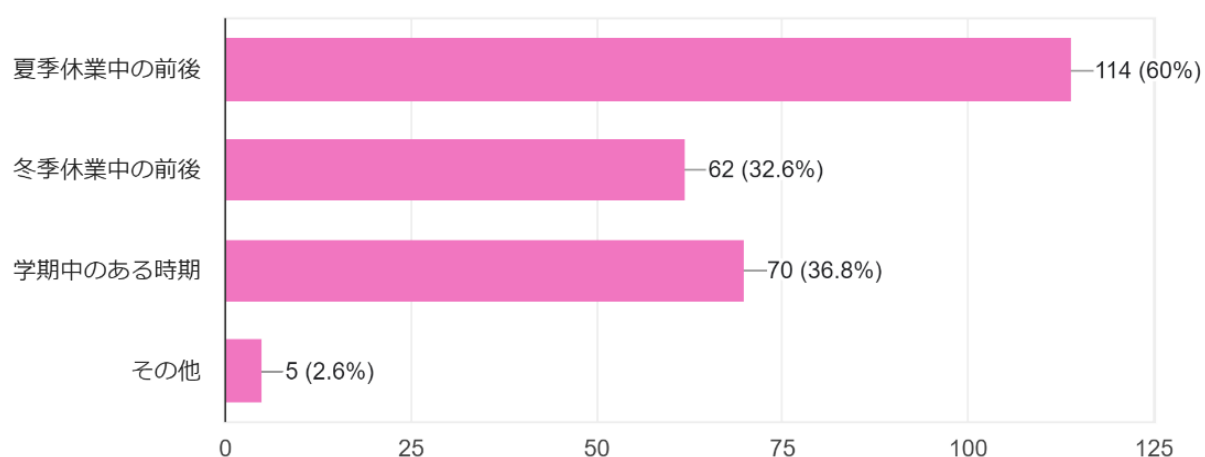
【18】上記の質問で「1つ目」または「2つ目」と答えた方は、実施形態についてお答えください。

81 件の回答



【19】「生活の課題と実践」の実施について、当てはまる時期を選択してください。

190 件の回答



【19】その他の回答

- ・夏休み、冬休みの課題として行っている。
- ・ゴールデンウィークを含む一ヶ月間
- ・実施していない。

【20】「生活の課題と実践」の実施について、具体的な学習内容をお答えください。

家庭での洗濯実際、給食献立を考えよう

今までの食生活、衣生活の学習内容を踏まえ、自分で課題を設定して解決させる。

”我が家の防災対策

我が家の SDGs”

学習してきた内容で、自分の家での課題を1つあげて、それに対する改善策を考えて、実際に行い、反省と今後の課題を考える。実施後に、1人2分間で作成した資料を提示しながら発表を行った。

”快適な住空間 生活の 3R 繊維 ハンバークレポート 家事分担や賃金の男女比較

給食から子どもの well-being を考える”

食生活における課題と実践

”対象者に向けた献立作成

家事を行う(洗濯か料理)”

地産地消の観点でのレシピづくり

住まいの安全対策

防災について、洗濯実習、大掃除、

食生活の見直し、洗濯をしよう

洗濯と掃除を家で行い、レポート提出する。

衣服の手入れ、調理

防災。停電・断水のときの食事作り。2年生。常温で長期保存可能、かつ水を節約してできる調理実習を行う。

家事の分担と実施、洗濯、献立づくり、幼児のおもちゃ製作

家族 1 食分の食事作り、上履きを洗おう

持続可能な社会の実現

担当学年ではないので分からないです

食事作り、洗濯実習

”「家族・家庭生活」では、洗濯実習、掃除実習、保育実習、幼児のおやつ作り

「衣食住生活」では、お弁当作り、お雑煮作り”

衣生活の課題について

衣生活の課題について

大掃除、お弁当作り

家でお弁当を作る、洗濯を回す

簡単な朝食を作る、SDGsを意識した掃除をしようなど

市環境課主催のゼロカーボンコンテストへの参加

家庭での調理、洗濯、制作など

幼児に適したおやつ作り

ホームプロジェクトのような、自分自身の生活から課題を見つけ、より良い生活にするためにはどのように工夫すると良いか考えさせる内容を考えています。

洗濯、大掃除、調理、幼児

食生活の課題を解決するための実習等

食生活の実践 住まいの実践

衣食住、環境について家庭から課題を見つけ、計画を立て実践する。

1年持続可能な衣生活 2年エコクッキング、持続可能な食生活

”自分の食生活から問題を見つけ出し、その解決に向けて計画を立てて実践する。

(献立作成・調理実習を家庭で事前・事後に行う など)”

家族のためにできることを実践する、家庭内事故の対策、室内環境を整える、防災の取り組み、洗濯機を使って洗濯を実践する

幼児の観察、日常着の手入れ、行事食・郷土料理調べ

消費と環境について、実践レポート

日常食の調理

「家族と協力・協働して、衣服の手入れを行う」「1 日分の食事作り(環境に配慮して調理)」「幼児のための間食を作る」

「幼児の布を用いた遊び道具を製作する」

夏休みの宿題として、1年生は「夏野菜を使った料理をしよう」2年生は「環境のためにあなたができることを考えよう」3年生は「幼児のおもちゃを廃材でつくろう」幼児が安全につかうための工夫を考えながら」を出します。冬休みは1・2年生に「お家の手伝いをしよう」として大掃除の手伝いや、部屋の片付けを SDGsや5R を考えながら行っていく。3年生は受験のため宿題を出さない。

1 年のお弁当コンクール 2 年の洗濯実習

・旬の食品レポート ・郷土料理(行事食)レポート ・和服の文化レポート

洗濯実習 食事記録

”よりよい住まい方について、現在のじぶんんおいえの状況を調査し、改善点を考える

幼児とのより良いふれあい方について考え、ふれあい体験で使用するおもちゃを作る”

安全安心な住まい 防災 幼児のおやつ

加工食品の選択

同じ食品でも食品添加物の内容やカロリーオフやカロリーオフなどを比べさせて、どれを選択するのか、なぜ選択したのか、食べるタイミングや場所などによって変わるのか？考えさせる。グループで話し合いをし、他の人の意見を聞いて、自分の考えはどう変化したか、それはなぜか考える。よりよい、食生活に結びつける。

今まで習った分野の中から、自分の生活と結び付け、自分の生活の中の課題を見つけ、テーマに設定し、解決方法を考えるレポートを作成。

食生活では誰かのために作る料理という題名で調理をするなど

洗濯を 3 日間以上行う(1年生)お弁当を作ろう(2年生)

自主的にテーマを設定し、決められた期限までに提出するレポート課題

行事食・郷土料理について調べ家庭で実際に作りそれについてレポートにまとめる。

夏休みの課題で住まいをよりよくするための実践レポートを書く

幼児期の振り返り・いまの自分分析レポート

自身の食生活の課題と実践。

住生活の学習をもとに、自分の部屋などは快適に生活できているかを考えさせレポートに実践例をまとめさせる。

家族のための一食分の献立・食事作り。

エコな生活をしよう

サステナブルクッキング

食生活・住生活の課題

洗濯実習レポート

大掃除実習レポート

1食分の食事(お弁当)づくりレポート”

郷土料理を作る

洗濯をする

家の安全点検

SDGsの実践項目から課題を見つけ実生活で改善する

衣服の洗濯実践

自分で課題を選択して夏季休業中に実践 レポート作成

家庭内の危険な場所を調査する

献立の作成

幼児のおやつの調理実習

栄養バランスを考えた献立を考え、調理をする

洗濯

住生活:家の中のライフリサーチ

快適で安全な住まい

1年生で、洗濯実習レポートを行いました。

洗濯機での洗濯、家庭内の危険箇所の改善方法を考え実践する

衣服計画をたて、不要になった衣服を用いて生活に役立つものの製作

衣服の手入れに挑戦 家族に役立つ防災対策マニュアル作り

食生活では、冬休みに郷土料理を調べる学習や、夏休みに家庭で一品調理など

洗濯の実践や日常食の献立を考え実践するなど

調理実習、洗濯実習、掃除実践

自分の実生活を振り返って課題を設定し、その課題を解決するための1日分の献立を考える学習

1年洗濯機による洗濯の実践。2年美味しく食べるための具材の切り方。3年幼児番組を観て気づいたこと or ライフリサーチ

ひとり暮らしシュミレーション(物件選び・家電の購入)

環境アクションプラン

安全計画をしよう！(住居)

エコクッキングなど

調理体験

衣生活環境に優しい洗濯 食生活野菜の美味しい切り方を考える

幼児のおやつ、快適な住環境、テーマを決めて1食分の調理

自宅にて洗濯実践、住まいの課題解決

我が家の防災マニュアルの作成

「私たちの食生活」で自分の食事の課題を見つけて調理を行い振り返りをまとめる。

栄養や献立について学び、夏季休暇中に家で実際に調理する。休暇明けに作った料理を共有する時間を設ける。

献立作成したものを家庭で調理を行い、評価・改善を行う。制作したバックを使ってみて、改善点を発見し、さらによりよく使うための計画を立てる。

調理レポート

家の掃除レポートの作成(1年)、調理レポートの作成(2年)

被服実習のあと

食生活

健康的な食生活 災害に備えた住まい などの実践レポート

”エシカル消費を目指した課題解決

学校給食の献立作成を通して、食生活の課題解決

衣生活の課題解決”

自分で課題設定する。

自分や家族の食生活を見直し、課題を見つけて料理実践したことをレポートにまとめる

お弁当づくり

長期の休みで制服と日常着の手入れをする、

”「1日家事リーダー」題して、それぞれ課題を設定し、各家庭で実施し、レポート提出。

その後、各班で発表し共有する。”

家庭での洗濯や清掃などの実施 料理の実践など

給食レシピコンテスト

大掃除の時期に合わせ、部屋や場所に合った掃除の工夫など

ローリングストックで中学生が作れる料理調べ

防災について家庭・地域の取組を調べる

お弁当コンクールなど

地域の食材を使ってエコクッキング、住まいの安全対策を確認しよう

個々の生活の課題から学習していくので、特に設定していない

環境・健康に配慮した調理

レポート形式にした。授業で課題を絞るところまで書き、家庭で実践。

*1日分の献立作成・実習・レポートまとめ *洗濯機を使つての洗濯実習・レポートまとめ

衣類の手入れ、防災の取組

調理実習、課題制作、ICT

1日家事をやる

自分の食生活の課題とその改善や理想の住居の計画、幼児の特性に合わせたおもちゃ作り

食事作り

おもちゃ作り、お弁当を作ろう、洗濯をしよう、行事食レポート

エコバッグ製作

食生活 献立作成

調理実習

衣服の手入れ

食生活の実習について

幼児施設への訪問

自分の食生活の課題を解決するための日常食について計画をたて実践しよう。

洗濯、郷土料理実習など

食育と関連つけてお弁当の日。SDGsを意識した調理。

家族の身体を考えて、お弁当を作る

食生活の中で、課題を見つけ課題を設定、計画実践振り返りを行う

”食生活分野

野菜・いも、魚、肉の調理上の性質を理解した上で適切な加熱の仕方に着目し、お弁当づくりを夏休みの課題として出した。その際、栄養バランス、献立の立て方も再度復習した。”

衣生活・住生活の中で自分の課題を見つけ、実践し、レポートにして提出。

衣生活・住生活の自分の課題を見つけ、実践し、レポートで提出。

ホームプロジェクトのようなもの

住まいをよりよくするための計画と実践

住生活の学習後、自分の部屋の安全点検

エプロン製作

洗濯実習、ハンバーグ調理、幼児についての課題、掃除実習、行事食調理

課題を探し解決の方法を探る

実技テストの練習・まとめレポート、幼児の成長記録・いまの自分分析レポート

布を使った作品など

”大掃除

昼食作り

エコクッキング

お正月料理”

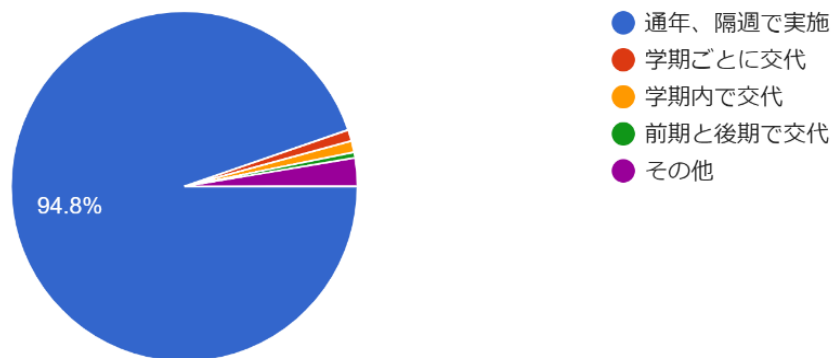
住いの安全対策

身近な食材を使って調理実践

授業内で計画し、夏休みに家庭で実践後、夏休み明けに授業内で発表する。

【21】第3学年の授業を、どのように実施していますか。

191 件の回答



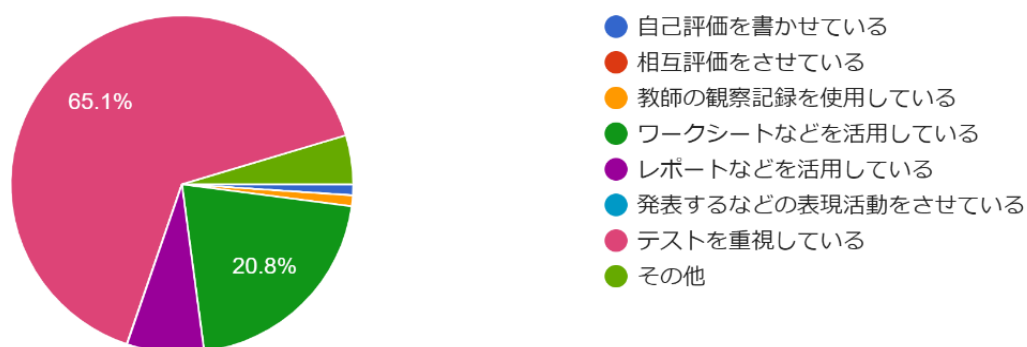
【21】その他の回答

・単元のまとまりごと

・1クラスを2分割して技術と家庭を隔週実施。

【22】『知識・技能』の評価資料として、特に重視しているものを選んで下さい。

192 件の回答

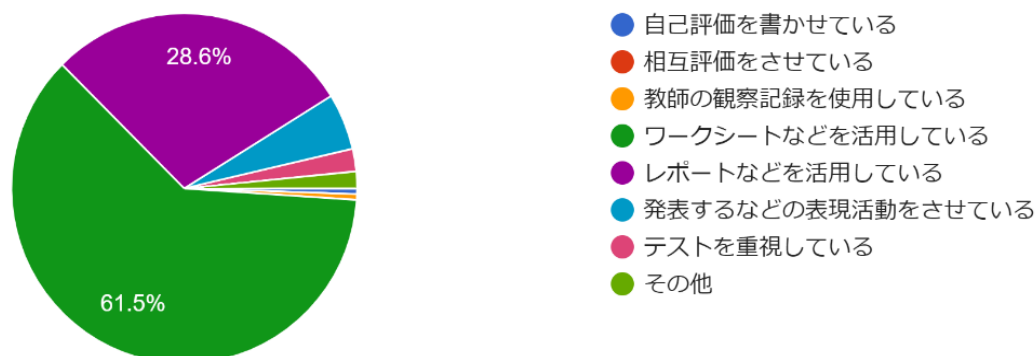


【22】その他の回答

- ・実技試験
- ・作品
- ・レポート、実習観察、テスト(小テストを含む)実技テスト等

【23】『思考・判断・表現』の評価資料として、特に重視しているものを選んで下さい。

192 件の回答

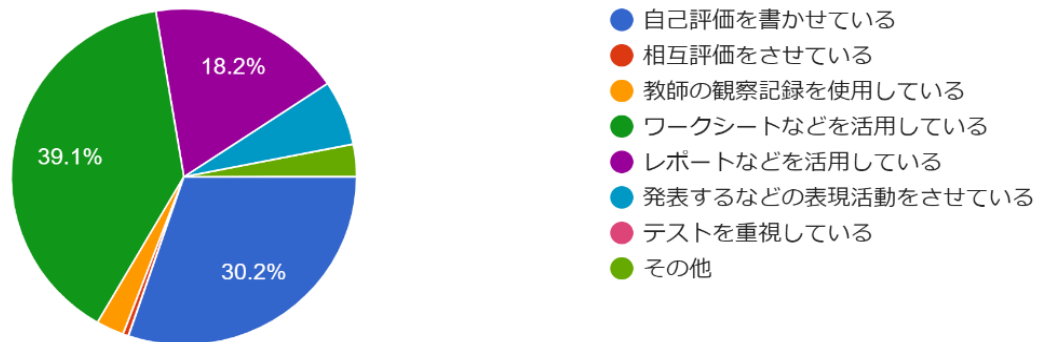


【23】その他の回答

- ・小テスト、技能テスト、ワークシートなど
- ・作品やノート課題

【24】『主体的に学習に取り組む態度』の評価資料として、特に重視しているものを選んで下さい。

192 件の回答



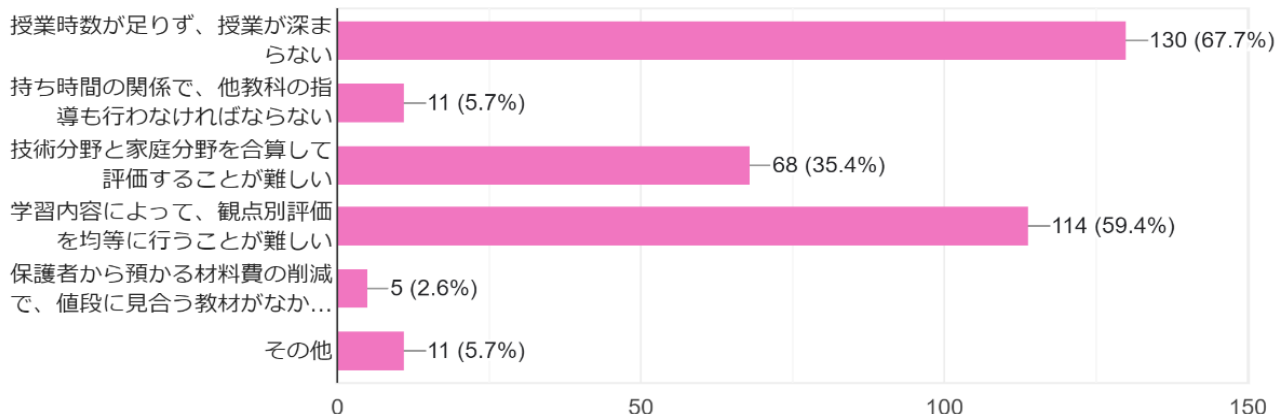
【24】その他の回答

- ・授業全体の取り組みと自己評価
- ・授業(学習)の振り返りを活用している
- ・題材ごとのふりかえり
- ・ポートフォリオ

【25】

各学年の授業を実施していて、特に問題だと感じている点について、2つ以内で選んでください。

192 件の回答



【25】その他の回答

免外での対応

- ・調理実習の材料の買い出し
- ・兼務なので時間がない
- ・3年生の1学期の評価材料がどうしても不足している。成績の締め切りまでに授業回数が少なく、特に異動したばかりでは子どもの様子もわからずいつも評価に気をつかう。
- ・教員側は技術・家庭で分担して特に困難は感じないが、評価を受け取る側の生徒や保護者が難しさを感じているように思う。合算することで自分が思うような評価が得られないときに、説明しても納得が得にくいように感じることもある。教科や教員のせいにされがちだと感じることもある。
- ・持ち時間が多く、準備や評価を勤務時間外にやらなければいけない
- ・専門教科外の担当者が3学年分のシラバスを考え授業することが困難
- ・2校兼務なので、授業準備が勤務時間内で出来ない。授業の進度が揃わないのに6月から11月にかけて5種類の授業をしている。
- ・許可免許で2人で行っている現状。正規の免許を持っている方の人材確保をしてほしい。

【26】小中高での学習内容が重ならないよう、どのように情報を得ていますか。

都度、生徒に小学校で学んだことを聞いている。教科書等だけで判断してしまうのではなく、生徒の印象に残っていることを重視している。

生徒に年度当初にアンケートで既習事項をヒアリングすること

小中では、校区の小学校の先生との合同研修会にて情報交換を行うことにしている。

”生徒に聞き取りを行ったり、教科書を参考にしている。

また、合同研修や出張でお会いした時に聞いている。”

町の研究会で情報交換をしたり、生徒から聞き出したり。

1小1中なので、小学校との連絡を密にしています。

”小学校は、自分の子どもの教科書やワークシートを参考に、どのような内容を行っているかを確認する。また、中1には、年度当初に、小学生の調理実習の献立と、裁縫の教材(エプロンやバックなど)を聞いて、重複しないようにしている。ただし、裁縫に関しては、玉止め、玉結び、ミシンの使い方は、中学生で再度確認しないと、習得できていない生徒も一定数いると感じている。近隣の小学校の先生との情報交換で進捗を聞いている。

高校は、NHKの「家庭総合」のVTRを確認している。”

生徒からの聞き取り

繰り返し学ぶ必要がある内容は重なる必要があると考えています

4月に生徒にアンケートを実施

小学校、高校の教科書を参考にしている

学習内容は重なって深めるものと考えている

小学校で学習した内容を生徒に聞いている。

小中交流会での意見交換やオリエンテーションでアンケート調査

小学校とは目の前に小学校があり、小中連携で何度も会うので情報交換ができる。(しかし生徒にやったことを直接聞いたほうが早い。)高校は教科書を眺める程度。

指導要領を読む、研修で情報を聞くなど。

生徒に小学校で何をやってきたか聞く。制作物、調理実習など

生徒に小学校で学習した内容をきいている。

4月の授業開きの際に生徒から既習事項を確認している。

一年生の最初の授業ガイダンスで、小学校の時の学習内容を教えてもらっている。

インターネットや学習指導要領で確認、生徒と擦り合わせ、小中交流

小中での学習内容については、生徒に口頭で確認したり、アンケートを取ったりしている。

小学校の教科書、生徒に聞く

4月に生徒アンケートをしています。

小中一貫の時に情報を聞く等

学習指導要領をみる。小学校の先生と支援会議の際に聞くことができる時もある。

生徒からの聞き取り、学区小学校教員との情報交換

指導要領などを参考にしながら考えている

生徒にこれまで学習してきたことを調査することや、小学校・高校の教科書を見て情報を得ています。

生徒からと小中交流会などの機会を通して小学校とは小中連携の機会に情報交換を行っている。高等学校とは特に行っていない。

小中合同研修など

小学校の教科書や教員との情報交換

小中一貫の日に小学校での既習内容を確認している。

入学してきてすぐ、小学校の振り返りをしています。また書く題材に入る前に、小学校での学習内容を確認しています。

生徒に小学校での内容を聞く、プリントに書かせる。

小中交流会での意見交換や、生徒に直接小学校で学んだ内容を聞いている

昨年、県の研修会に参加した。高校での株の話や経済の話はどこまでやっているのか、そことどうやって中学校は繋いだほうがいいのか考えるためだ。

お金の問題は、一生関わることなのにあまり中学校では話さないことが問題だと思い、研修に参加したが、どことどうつなげて…評価へと結びつけるべきか、知識だけでも伝えるべきか悩むところである。

小学校の内容については生徒から聞き取っている。

小学校の先生との交流会の際、家庭科の指導計画をもらっている。実際、やったか確認すると、子どもたちからは、何をやったかの情報が全く入ってこない。

高校の履修は異なるので、ほぼ確認しては取れないが、卒業生からは同じようなことをやったという話がいくつか聞かれる。生徒によって、家庭科を選択しない生徒もいるので、中学までに一通りの履修ができるように計画している。

生徒からの情報および学区内交流の機会に情報を得る

各教科書を購入し、独自に考えている。小学校は交流があるので情報を収集し易い環境にあるが、高校の情報が無い。小学校で履修しているところの復習が必要な単元もあり、学習内容が重複することもある。重ならないようにとは、どのようなことなのか？つながりを持って、さらに深く学んでいけるように考えていたが、この考えが間違っているのか教えてほしい。

復習を取り入れつつ新しい勉強を行う。またその都度履修しているか生徒にも確認する。

小学校の内容(製作したもの、調理実習)を生徒から聞き取りしている。

学習指導要領対照表を参照したり、小中連携の教員同士の懇談時などに話すなど。しかし、高校との繋がりや先生方との交流も少なくわかりにくい。

4月に自己紹介アンケートとして子どもからの情報と小中交流の研修で教科担当と話せばそのとき。

教科書や小中連携の会議で情報を得ている

小学校で学んだことを確認して、中学の授業に取り組むようにしている

生徒にどのような学習をしてきたのかを聞く。

また、小中連携の時間にどのような学習を進めているのかを確認する。

教科書や小中一貫で情報共有している。

生徒へのアンケート等

学区内の小学校とは合同の研修会があった際に情報交換できる場面があります。しかし、ここ数年コロナの影響もあり実施できていない現状です。高校とは、全く情報交換する場面はありませんが、県の総合教育センターに自主的に研修を申し込んだ際に、たまたま一緒になった高校の先生から情報を得る程度です。

小中一貫で、情報共有する

小中連携授業参観などの際に、小学校の先生方からの情報を得ています。

町の研修等の中で情報交換

自ら本を読んだり、検索したりしている。

小中連携授業参観の際に、小学校の先生と情報共有している。

生徒から小学校では何をやったのか、中学校の家庭科の授業で何を身に着けたいのかをアンケートしている。

年に1,2回ほど小中連携授業参観などで少し話す。

小学校の教科書の教材研究を行っている。高校の内容は様々な手段で情報を収集している
 毎年入学してきた中1に、小学校で学んだことを聞き取りをする。中学校を卒業した生徒が遊びに来たときに高校の家庭科の授業の内容を聞き、参考にしている。
 小中連携などで、小学校の先生と意見交換する場面があるため、その際に聞いています。
 小中連携と生徒アンケートの実施
 1年ガイダンスでのリサーチ
 学習を進める中で、自分の生活から考える場面での生徒の発言”
 特に情報を得ることはできないので、中1の生徒には小学校での学習内容のアンケートをとったりします。
 小学校の教科書や学習指導要領の確認、入学時のガイダンスで小学校での実習内容のアンケート
 中学校の教員間での情報共有に収まっており、現状学習内容の重複の対策はできておりません。
 小中連携校のため、小学部の家庭科担当の教員と連絡をよく取り合っている。また、教育課程等での指導主事からの伝達で把握している。
 夏に行われる小中連携の授業公開時に、情報交換を行っている。また、年度始めの授業で生徒から小学校で学習してきたことの確認を行っている。
 中学校ブロックの小学校と情報交換。高校とはその機会がない。
 教科書や学習指導要領を見て確認する。生徒や他校種の先生と直接話す。
 小中合同の会議などで確認をするようにしている。
 小中交流会や学校間での授業参観時に情報を共有している
 事前に生徒にアンケートを取る
 小中交流の授業参観や協議会で話を聞いている。
 他校種の先生に聞く。
 新入生に小学校で学習した内容を調査している
 電話を用いて情報を得る
 外に出て様々な先生方との繋がりをつくろうと努力しています。
 1年生の4月にアンケートをしています。
 連携の時に小学校の先生と情報共有する。
 ガイダンスの際のアンケートと小中交流
 小中授業研後の意見交換の際に質問する。年度当初に生徒アンケートの実施。
 小学校との授業交流で情報交換する。
 小学校とは、合同学習会があるので、共有させてもらっている。
 資料からの情報収集
 定期的な小中間での情報共有
 小学校の教科書を読む
 生徒に話を聞いたり、小学校、高等学校の教科書を確認している。
 生徒たちへの授業での発問、アンケートや小中連携の教科別の会合。
 一学年でのオリエンテーションで生徒から聞き取っている
 小中交流の際に家庭科の授業での内容や様子について情報を共有してもらう
 小学校との協議会の際確認している。高校の情報は得ていない。
 主には生徒から履修した内容を聞き取る
 小学校は年に何度か情報交流の場があるので把握しやすく、高校に関しては、NHK の高校講座などを参考にしています。
 義務教育学校なので、小から中は問題なし。高校は、研修会やライングループで情報を得ている。

